

2022-B																													
拠出金・基金 の名称		経済社会局拠出金																											
種 別		イヤマーク																											
【拠出先の国際機関名】国際連合経済社会局(UNDESA)																													
【所管官庁担当局課・室名】国土交通省水管理・国土保全局河川計画課国際室																													
【当該任意拠出金の目的・用途等】 世界における水防災対策の推進及び我が国の水防災技術の海外展開に資する環境整備等に寄与するため、国連における防災と水に関する国連事務総長特使の活動支援等を通して、水防災に係る国際目標の達成に向けた活動を推進する。																													
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>単 位</th> <th>邦 貨 (千 円)</th> <th>外貨1 (千米ドル)</th> <th>外貨2</th> <th>レート</th> <th>ODA率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>30,440</td> <td>282</td> <td></td> <td>1米ドル=108円</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>26,120</td> <td>242</td> <td></td> <td>1米ドル=108円</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>65,000</td> <td>591</td> <td></td> <td>1米ドル=110円</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>						単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2	レート	ODA率(%)	令和4年度	30,440	282		1米ドル=108円	0%	令和3年度	26,120	242		1米ドル=108円	0%	令和2年度	65,000	591		1米ドル=110円	0%
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2	レート	ODA率(%)																								
令和4年度	30,440	282		1米ドル=108円	0%																								
令和3年度	26,120	242		1米ドル=108円	0%																								
令和2年度	65,000	591		1米ドル=110円	0%																								
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 2013年12月に国連において防災と水に関する国連事務総長特使が任命され、同特使を中心として水災害軽減に係る国際的な行動規範、防災主流化に向けた国際協力の枠組みの検討等が行われることとなった。日本は初期段階から継続的に参加するとともに、その事務局に日本関係者を派遣し、国際的な議論をリードしてきた。これまでの国連の活動への参加等を通じ、仙台防災枠組2015-2030、SDGs(国連持続可能な開発目標)等の国連の各種文書に水と災害の重要性が位置付けられてきている。また、国連での水と災害に関する会合の開催を主導することなどにより、我が国の主張を積極的に展開している。																													
【備考】																													

2022-B					
拠出金・基金 の名称		国連統計部拠出金			
種 別		イヤマーク			
【拠出先の国際機関名】国際連合経済社会局統計部(UNSD)					
【所管官庁担当局課・室名】総務省政策統括官(統計制度担当)付国際統計管理官室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 持続可能な開発目標(SDGs)を世界的に推進するため、我が国から国連統計部に対する拠出金により①SDGsの進捗を測定するグローバル指標に関する国際基準・ルールづくりに際して我が国の意見を反映させるとともに、②開発途上国における、グローバル指標作成等に必要な統計能力の開発を支援することを目的とする。 ①の目的を達成するため、国連統計部に我が国の職員を派遣するための費用を支出し、②の目的を達成するため、SDGs関連の国際会議や研修等に開発途上国の統計職員等が参加するための旅費を支出している。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2	レート	ODA率(%)
令和4年度	15,944	148		1米ドル=108	0%
令和3年度	15,944	148		1米ドル=108	0%
令和2年度	16,239	148		1米ドル=110	0%
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 国際派遣を経験した職員が、国連統計部での業務を通じて得た知見や経験を活かして、SDG指標にも関連する我が国の統計調査の実施等に関する経験やノウハウの国際的な共有や、国際基準・ルール等の議論・検討等に際して大きな役割を果たしている。また、SDG指標作成等に向けた開発途上国の統計能力の開発に資するとともに、国際的な合意形成に際して、開発途上国の意見が適切に採り入れられることにも貢献している。					
【備考】					

2022-B					
拠出金・基金 の名称		国連人道問題調整事務所拠出金			
種 別		一部イヤマーク			
【拠出先の国際機関名】国連人道問題調整事務所(OCHA)					
【所管官庁担当局課・室名】外務省緊急・人道支援課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 人道支援活動の調整業務の強化					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 ()	レ ー ト	ODA率(%)
令和4年度	744,940	6,898		1米ドル=108円	100%
令和3年度	386,635	3,580		1米ドル=108円	100%
令和2年度	688,250	6,257		1米ドル=110円	100%
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 我が国は、国連等の各種人道支援機関を通じた人道支援外交を重視している。国際機関やNGOなど様々な主体が活動する人道支援の現場において、効率的・効果的な活動を行う上で、OCHAによるニーズの把握及び調整機能は重要な役割を果たしている。OCHAは、国連の人道支援改革を着実に実施しており、国際社会における人道支援初期対応の強化、分野別調整システム構築等の取組は高く評価されている。このような取組を支援することは、人道支援に対する我が国の積極的な姿勢をしめすのみならず、我が国自身の緊急人道支援の効率化にもつながる。 2022年、OCHAは69か国において、紛争、気候変動等により、深刻な人道危機に直面する3億2,400万人の最も脆弱な人々のうち、1億5,700万人に支援を提供。44の国連人道支援要請(アピール)のとりまとめを行い、総額517億ドルの緊急アピールを発出し、過去最高となる297億ドル(総額の57.4%)の資金を調達。国連機関をはじめとする人道支援アクターによる保健医療、食料安全保障、教育等様々な分野での迅速な支援の実施に大きく貢献した。					
【備考】					

2022-B					
拠出金・基金 の名称		国連防災機関(UNDRR)事務局拠出金			
種 別		イヤマーク			
【拠出先の国際機関名】国連防災機関(UNDRR)					
【所管官庁担当局課・室名】内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発・連携担当)					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 国連防災機関(UNDRR)は、各国が自らの力で防災を進められるよう、「第3回国連防災世界会議」(平成27年3月・仙台市)において採択された国際的な防災指針である、「仙台防災枠組 2015-2030」に基づく各国の取組の推進とフォローアップ等に係る活動を実施している。 我が国は、UNDRRのそれらの活動に対する支援を実施しており、本拠出金は、同枠組に明記された「より良い復興」に関する情報収集・発信、人材育成等の活動や、国際復興支援プラットフォーム(IRP)を通じて活用されている。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2	レ ー ト	ODA率(%)
令和4年度	85,622	792,800		1米ドル=108円	0%
令和3年度	85,622	792,800		1米ドル=108円	0%
令和2年度	87,208	792,800		1米ドル=110円	0%
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 UNDRRの活動により、「仙台防災枠組2015-2030」が第3回国連防災世界会議(仙台市)において策定され、また各国における同枠組の進捗状況を図るグローバルターゲットのためのグローバル指標のモニタリングを行うなど、様々な活動を通じて世界の防災戦略の推進に貢献している。 令和4年度はUNDRR主催のもと、防災グローバルプラットフォーム(GP)会合とアジア太平洋防災閣僚級会議(APMCDRR)の二つの防災担当閣僚級会合が実施され、各国の重要課題や政策の共有が行われたほか、「仙台防災枠組2015-2030」後半期の推進方策を検討を行った。 さらに、IRPの活動により、各国における「より良い復興(Build Back Better)」に関する知識の共有等が進んでおり、令和4年度においては、「より良い復興(Build Back Better)と長期的な復興の成果:強靱で持続可能な未来への目標」をテーマにした国際復興フォーラムの開催など、世界各地でその推進に努めている。					
【備考】					

2022-B																													
拠出金・基金 の名称		国連防災機関拠出金																											
種 別		一部イヤマーク																											
【拠出先の国際機関名】国連防災機関																													
【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局地球規模課題総括課 国際機関班																													
【当該任意拠出金の目的・用途等】 2015年に日本が主導し国連において制定した「世界津波の日」に関して、世界各地における津波に対する意識向上のための啓発活動や津波対策の強化等の取組を実施するため。																													
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>単 位</th> <th>邦 貨 (千 円)</th> <th>外貨1 (千米ドル)</th> <th>外貨2</th> <th>レート</th> <th>ODA率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>548,549</td> <td>5,079</td> <td></td> <td>1米ドル=108円</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>485,498</td> <td>4,495</td> <td></td> <td>1米ドル=110円</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>602,008</td> <td>5,473</td> <td></td> <td>1米ドル=110円</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>						単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2	レート	ODA率(%)	令和4年度	548,549	5,079		1米ドル=108円	100%	令和3年度	485,498	4,495		1米ドル=110円	100%	令和2年度	602,008	5,473		1米ドル=110円	100%
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2	レート	ODA率(%)																								
令和4年度	548,549	5,079		1米ドル=108円	100%																								
令和3年度	485,498	4,495		1米ドル=110円	100%																								
令和2年度	602,008	5,473		1米ドル=110円	100%																								
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 UNDRRが中心となり「世界津波の日」に関するイベントや津波避難訓練等が世界各地で実施され、世界各国の津波防災に関する意識の向上及び知見・技術の共有に寄与している。																													
【備考】 -																													

2022-B					
拠出金・基金 の名称		国連薬物犯罪事務所拠出金			
種 別		イヤマーク			
【拠出先の国際機関名】国連薬物犯罪事務所(UNODC)					
【所管官庁担当局課・室名】法務省大臣官房国際課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 東南アジア地域における刑事司法機能の強化としての検察能力の強化及び同地域における刑務所の過剰収容対策と国際準則に沿った運営の促進					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2	レ ー ト	ODA率(%)
令和4年度	69,206	641		1米ドル=108円	79%
令和3年度	54,794	507		1米ドル=108円	100%
令和2年度	54,006	491		1米ドル=110円	100%
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 1 国連薬物犯罪事務所(以下「UNODC」という。)は、犯罪対策を包括的に扱う唯一の国連機関であり、UNODC東南アジア大洋州地域事務所においては、プログラムの柱の一つとして、「刑事司法機能の強化」に取り組んでいるところ、我が国は同プログラムの実施を支援するため、本拠出を行っている。 2 具体的には、本拠出に基づき我が国政府職員を派遣し、刑事司法機能強化において重要となる、検察のキャパシティビルディングのための研修やワークショップ等を実施するとともに、東南アジア地域における刑務所の過剰収容によってもたらされる課題に対処し、国際準則に沿った刑務所運営を促進するための研修やワークショップ等を実施するなどして、検察の能力強化及び刑務所運営改善の成果を挙げている。 3 これらの取組は、東南アジア地域の刑事司法機能の強化に資するものであり、本拠出を継続して引き続き進めていく必要がある。					
【備考】					

2022-B					
拠出金・基金 の名称		国連薬物犯罪事務所拠出金			
種 別		イヤマーク			
【拠出先の国際機関名】国連薬物犯罪事務所(UNODC)					
【所管官庁担当局課・室名】法務省大臣官房国際課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 京都コングレスフォローアップのための取組(アジア太平洋刑事司法フォーラム及び法遵守の文化のためのグローバルユースフォーラムの定期開催並びに再犯防止国連準則策定)を実施するために、国際連合薬物・犯罪事務所(UNODC)へ法務省職員を派遣するための経費					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2	レ ー ト	ODA率(%)
令和4年度	73,492	680		1米ドル=108円	0%
令和3年度	73,492	680		1米ドル=108円	0%
令和2年度	64,156	583		1米ドル=110円	100%
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 2021年3月に京都で開催された第14回国連犯罪防止刑事司法会議(以下「京都コングレス」という。)では、犯罪防止・刑事司法分野における国際社会の喫緊の課題が議論され、成果文書として今後の刑事司法分野における国際社会の指針となる「京都宣言」が採択された。 我が国は、ホスト国として、「京都宣言」の確実な実施にリーダーシップを発揮すべく、「アジア太平洋刑事司法フォーラムの定期開催」、「法遵守の文化のためのグローバルユースフォーラムの定期開催」及び「再犯防止に関する国連準則の策定」といった様々な取組を進めている。 これらを実現するためには、国連の刑事司法分野の活動の事務局機能を担う国際連合薬物・犯罪事務所(以下「UNODC」という。)に当省職員を引き続き派遣し、各プロジェクトの企画・運営に当たり、我が国とUNODCとの的確かつ迅速な連絡調整や、水面下での我が国の意図の反映を行う必要がある。					
【備考】					

2022-B																													
拠出金・基金 の名称		国連人間の安全保障基金拠出金																											
種 別		一部イヤマーク																											
【拠出先の国際機関名】国連人間の安全保障ユニット																													
【所管官庁担当局課・室名】外務省地球規模課題総括課 国際機関班																													
【当該任意拠出金の目的・用途等】 本件拠出金は、人間の安全保障の実施と普及を目的として、日本が主導して国際連合に設置した人間の安全保障基金に対する拠出金で、現在の国際社会が直面する貧困・気候変動・紛争・難民問題・麻薬・感染症等、多様な脅威に取り組む国連機関の活動の中に人間の安全保障の考え方を反映させ、実際に人間の生存・生活・尊厳を確保する事業を支援することを目的としている。同支援は、すべての人々とコミュニティの保護と能力強化に資する、人間中心の、包括的で、文脈に応じた、予防的対応を求める人間の安全保障アプローチに基づき実施されており、2022年12月末までに100以上の国・地域において293件の案件を実施している。																													
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>単 位</th> <th>邦 貨 (千円)</th> <th>外貨1 (千米ドル)</th> <th>外貨2 ()</th> <th>レート</th> <th>ODA率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1,371,937</td> <td>12,703</td> <td></td> <td>1米ドル＝108円</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>778,357</td> <td>7,207</td> <td></td> <td>1米ドル＝110円</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>598,868</td> <td>5,444</td> <td></td> <td>1米ドル＝110円</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>						単 位	邦 貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 ()	レート	ODA率(%)	令和4年度	1,371,937	12,703		1米ドル＝108円	100%	令和3年度	778,357	7,207		1米ドル＝110円	100%	令和2年度	598,868	5,444		1米ドル＝110円	100%
単 位	邦 貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 ()	レート	ODA率(%)																								
令和4年度	1,371,937	12,703		1米ドル＝108円	100%																								
令和3年度	778,357	7,207		1米ドル＝110円	100%																								
令和2年度	598,868	5,444		1米ドル＝110円	100%																								
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 本基金は、人間の安全保障の概念を主流化するための広報事業と、現地において人間の安全保障の実践を行う事業の2種類があり、国際機関向けの支援スキームの中で、日本が外交の柱と位置づけている人間の安全保障を推進し、実践するための唯一の支援ツールである。2022年の本件拠出金(イヤマーク)では、①「イラク南部における気候変動の悪影響等による新規移住への対応」、②「南コルドファンの最も脆弱なコミュニティへの統合的支援を通じた人間の安全保障への取組」、③「モルドバにおけるウクライナ人難民、第三国人、ホストコミュニティの社会経済的エンパワーメントと包摂による人間の安全保障の推進」の3件のプロジェクトに使用された。①については、イラク南部における新たな国内避難民、環境悪化、水不足、病気の発生、食糧不安をはじめとした気候変動による悪影響への対処を目的とする支援、②については、不安定な軍事・政治情勢によって生じた人々の経済、社会、安全状況の悪化に対して緊急的に対処し、更なる紛争の発生予防に貢献する支援、③については、モルドバにおいて、ウクライナ戦争の影響を受けたウクライナ難民、第三国人(TCN)及びホストコミュニティの経済、健康、コミュニティ安全保障の強化を目的とする支援を行うもの。これらのプロジェクトを通じて、対象国・地域における人々とコミュニティの保護と能力強化が進み、裨益者の人間の安全保障の確保に寄与するものと評価できる。																													
【備考】 本拠出金の2022年度(令和4年度)の拠出金総額は1,371,943千円であるが、うち475,475千円(約35%)がイヤマークされている。																													

2022-B																													
拠出金・基金 の名称		国際連合宇宙部拠出金																											
種 別		イヤマーク																											
【拠出先の国際機関名】国連宇宙部																													
【所管官庁担当局課・室名】外務省宇宙・海洋安全保障政策室 宇宙班																													
【当該任意拠出金の目的・用途等】 本拠出金は、国連宇宙部による「宇宙新興国のための宇宙法プロジェクト」に対するイヤマーク拠出。宇宙関連の制度及び法令に関する調査や、国内宇宙関連法令に関する能力構築支援を目的としたアジア太平洋地域の宇宙新興国に対するワークショップの開催を実施。																													
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>単 位</th> <th>邦 貨 (円)</th> <th>外貨1 (米ドル)</th> <th>外貨2 ()</th> <th>レート</th> <th>ODA率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>16,728,012</td> <td>154,889</td> <td></td> <td>1USD / 108円</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>10,701,072</td> <td>99,084</td> <td></td> <td>1USD / 108円</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						単 位	邦 貨 (円)	外貨1 (米ドル)	外貨2 ()	レート	ODA率(%)	令和4年度	16,728,012	154,889		1USD / 108円	0%	令和3年度	10,701,072	99,084		1USD / 108円	0%						
単 位	邦 貨 (円)	外貨1 (米ドル)	外貨2 ()	レート	ODA率(%)																								
令和4年度	16,728,012	154,889		1USD / 108円	0%																								
令和3年度	10,701,072	99,084		1USD / 108円	0%																								
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 COPUOSにおいて宇宙新興国が関連国際法及びガイドライン等の遵守について言及がする等、宇宙新興国によるコミットメントも得られている。本拠出金により行われたワークショップに参加した国々は、COPUOS法律小委員会において、謝意と意義に関する発言がある等、我が国のプレゼンス強化に繋がっている。																													
【備考】																													

2022-B					
拠出金・基金 の名称		国際連合地域間犯罪司法研究所拠出金			
種 別		イヤマーク			
【拠出先の国際機関名】国際連合地域間犯罪司法研究所 (UNICRI)					
【所管官庁担当局課・室名】法務省法務総合研究所					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 テロ対策, 組織犯罪対策, 刑事司法分野における最新技術の活用に関するプロジェクト等の実施のために, 国際連合地域間犯罪司法研究所 (UNICRI) へ法務省職員を派遣するための経費					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2	レート	ODA率(%)
令和4年度	2,309	21		1米ドル=108円	100%
令和3年度				1米ドル=	
令和2年度				1米ドル=	
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 国際連合地域間犯罪司法研究所 (UNICRI) は, 国際連合の犯罪防止・刑事司法分野の活動を拡大強化するために設立された国際連合直属の研究・研修機関であり, テロ対策, 組織犯罪対策, 刑事司法分野における最新の技術の活用に関する研究に取り組んでいるところ, AIを含む最新の技術を活用した受刑者の改善更生プログラムの開発・試験的導入を行うプロジェクト(技術支援)を共同で実施するため, 本拠出を行っている。 令和4年度においては, プロジェクトの企画, 関係機関との調整等を行ったものであるが, 今後, 令和5年度から令和7年度にかけて, プロジェクトが実施され, 過剰収容や矯正処遇に当たる職員数の不足等の問題を抱える開発途上国に対して, 技術の利用による効果的な施設運営・職員教育に関する支援を行う予定。					
【備考】					

2022-B																													
拠出金・基金 の名称		国際連合国別プール基金拠出金																											
種 別		イヤマーク																											
【拠出先の国際機関名】国際連合国別プール基金																													
【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局緊急・人道支援課																													
【当該任意拠出金の目的・用途等】 新たな人道危機が発生した場合、もしくは既存の危機が悪化した場合に、自然災害や紛争等による人道危機が起きている国・地域で活動する現地団体、NGO、国際機関、赤十字等の人道支援機関に対し、活動資金を直接提供する。																													
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>単 位</th> <th>邦 貨 (千円)</th> <th>外貨1 (千米ドル)</th> <th>外貨2 ()</th> <th>レート</th> <th>ODA率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>144,825</td> <td>1,341</td> <td></td> <td>1USD=108円</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						単 位	邦 貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 ()	レート	ODA率(%)	令和4年度	144,825	1,341		1USD=108円	100%												
単 位	邦 貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 ()	レート	ODA率(%)																								
令和4年度	144,825	1,341		1USD=108円	100%																								
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 CBPFは、人道危機が起きている国々で活動する現地団体、国際NGO、国際機関等の人道支援パートナーに対し、活動資金を直接提供することで、優先的な人道ニーズに迅速かつ効果的な対応を可能としている。これは、人道支援体制の強化及び日本の推進する「誰一人取り残さない」という理念である人間の安全保障、ひいてはSDGsの実現にも貢献するものである。 開発協力大綱の改定においても、プールファンドへの拠出やノンイヤマーク拠出等の質の高い柔軟な拠出が明記され、CBPFへの拠出は、国際的に「質の高い拠出」の代表例と捉えられる中、日本としてCBPFへの拠出を通じ、他のドナー国と連携し、人道支援の質的向上に貢献することが可能となる。 令和4年度補正予算で、初めてCBPFへの拠出を決定し、シリア、イエメン、エチオピア向けの基金に拠出。人道危機が長期化し、特に人道状況が深刻な地域で活動する人道支援パートナーとの連携を通じて、水・衛生環境の改善、緊急シェルター・非食料援助物資の配布、保健医療サービス等の提供を行い、人道状況の改善に貢献した。																													
【備考】 																													

2022-B																													
拠出金・基金 の名称		国連平和活動局信託基金拠出金																											
種 別		イヤマーク																											
【拠出先の国際機関名】国連平和活動局																													
【所管官庁担当局課・室名】外務省国際平和・安全保障協力室																													
【当該任意拠出金の目的・用途等】 本信託基金の目的は、国連加盟国や事務総長が国際の平和と安全を維持し、実現し、持続させるために平和活動局(DPO)が行うミッションの派遣、関連政策の立案、評価、訓練等を支援すること。																													
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>単 位</th> <th>邦 貨 (千円)</th> <th>外貨1 (千ドル)</th> <th>外貨2 ()</th> <th>レート</th> <th>ODA率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>150,000</td> <td>1,388</td> <td></td> <td>1米ドル=108円</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						単 位	邦 貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 ()	レート	ODA率(%)	令和4年度	150,000	1,388		1米ドル=108円	0%												
単 位	邦 貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 ()	レート	ODA率(%)																								
令和4年度	150,000	1,388		1米ドル=108円	0%																								
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 令和4年度は、即席爆発装置(IED)や偽・誤情報等の新たな脅威を始め、紛争の複雑化・高度化によりPKOの活動環境が一層熾烈さを増す中、これらの問題に対処するための能力構築プロジェクトを実施。国連平和活動局を始め、関係者から高い評価を得ている。																													
【備考】																													